

# 第2章

## 安全で心地よい 環境を育む

都市基盤

生活環境



## 第2章

安全で  
心地よい環境を育む

都市基盤

生活環境

## 第1節 暮らしやすい生活環境づくり

## 1. 新松田駅・松田駅周辺の整備

## ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

新松田駅南口周辺の整備により交通機能が改善され、南口利用者が安全で便利に利用できる環境が整っています。

また、新松田駅北口周辺整備の検討が進められ、安全性や利便性の向上、中心市街地の活性化、魅力の創出等につながる施策が段階的に行われています。

## 〔基本目標〕

駅周辺地区は、駅前広場・道路等の基盤整備事業や都市計画制度等の導入を総合的に推進することによって、交通結節点としての立地特性を活かした広域的な玄関口としての機能を高め、町の中心市街地として都市機能の向上と魅力の創出に取り組みます。

## 〔現況と課題〕

- 現在の駅周辺地区は、古くから市街地が形成されてきたことから、駅前広場や幹線道路の整備水準が十分でなく、交通機能の改善や中心市街地の活性化、利便性の向上、魅力の創出等が重要な課題となっています。
- 現在の駅周辺地区における総合的な機能の更新を図るため、新松田駅南口への改札口開設に伴い、町では新松田駅南口駅前広場等の基盤整備事業を推進しています。また、県により引き続き県道711号線（小田原松田線）の歩道設置事業の推進が図られJRガードの拡幅を含めた交差点改良についても計画検討を進めています。
- 今後も、駅周辺の総合的な整備のあり方について検討を進める必要がありますが、特に町の玄関口である新松田駅北口のあり方や整備手法等については、具体的な方向性を定めることが求められています。
- 町民アンケート調査での今後の取り組みの必要性が高い、新松田駅南口駅前広場等整備事業の早期完成とともに、新松田駅北口周辺整備を進めていく必要があります。

## 〔基本目標指標〕

| 項 目                 | 平成26年    | 平成30年目標          |
|---------------------|----------|------------------|
| 新松田駅南口駅前広場等整備事業の進捗率 | 70%      | 100%             |
| 新松田駅北口周辺整備事業        | 協議会組織づくり | 基本方針～<br>基本構想の策定 |

## 〔実行計画の内容〕

| 施 策                        |      | ①新松田駅南口駅前広場等整備事業の促進                     |    |      |    |        |    |    |    |
|----------------------------|------|-----------------------------------------|----|------|----|--------|----|----|----|
| 方針・目標                      |      | 関係機関と調整を取りながら今後も引き続き事業を進め、早期の供用開始を進めます。 |    |      |    |        |    |    |    |
| 取り組み                       | 実施主体 | 旧プログラム                                  |    |      |    | 新プログラム |    |    |    |
|                            |      | 23                                      | 24 | 25   | 26 | 27     | 28 | 29 | 30 |
| ◎重点〈まちづくり戦略〉<br>効率的・効果的な整備 | 町    | 整備工事                                    |    | 暫定供用 |    | 暫定供用   |    |    |    |
|                            |      | 用地交渉                                    |    |      |    | 用地交渉   |    |    |    |

| 施 策                                    |                | ②新松田駅北口周辺整備の検討                     |    |    |    |        |    |    |    |
|----------------------------------------|----------------|------------------------------------|----|----|----|--------|----|----|----|
| 方針・目標                                  |                | 新松田駅北口や駅周辺の整備について検討を行い、調査・計画を進めます。 |    |    |    |        |    |    |    |
| 取り組み                                   | 実施主体           | 旧プログラム                             |    |    |    | 新プログラム |    |    |    |
|                                        |                | 23                                 | 24 | 25 | 26 | 27     | 28 | 29 | 30 |
| ◎重点〈まちづくり戦略〉<br>整備のあり方について検討、<br>調査・計画 | 町民<br>事業者<br>町 | あり方の検討                             |    |    |    | 基本方針策定 |    |    |    |
|                                        |                |                                    |    |    |    | 基本構想策定 |    |    |    |



## 2. 骨格的道路網（国道・県道、幹線町道）と生活道路

### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

県道や町道の新設・改良等が順次進められてきた結果、道路の利便性や安全性が徐々に向上されています。便利で安心して利用できる道路の整備に向け、継続した取り組みが行われています。また、新東名高速道路は平成32年の完成を目標に事業が進行しています。

#### 〔基本目標〕

生活や産業活動を支える道路づくりは、県道等の主要路線では拡幅改良・歩道の整備やバリアフリー化を進めるとともに、良好な道路景観を推進します。

町道や生活道路は幹線道路整備との連携、緊急度・優先度を考慮し、生活の利便性の向上や安全性の確保を推進します。

#### 〔現況と課題〕

- 道路網では、東名高速道路や国道246号、255号、主要地方道を含めた県道5路線が骨格的な道路として通っていますが、寄地区へは幹線道路が1路線で、急傾斜の山間地を通る道となっています。
- 町内道路においては、県道でも歩道がない路線やバリアフリー化（\*）されていない箇所があるほか、交通安全や交通の円滑化の視点から、交差点の改良等を進めていく必要があります。
- 町道では道路幅員が狭く、歩道のないところも多く、安全性や利便性、防災面等を踏まえると、町道や生活道路の拡幅・改良を道路整備計画に従い、進めていく必要があります。
- 定住化の促進や未利用地の活性化にあたり、空家・空地・未利用地の調査結果を基に利活用計画を策定し、道路の新設・改良が必要な地域については計画的な整備を行う必要があります。
- 橋梁の長寿命化や耐震化、舗装や道路附属施設等の計画的な維持管理を進め、道路台帳の整備に努めていく必要があります。
- 道路や商店街に歩行者や高齢者が安心して歩ける歩道や休憩できる空間を整備するため、「（仮称）松田町やすらぎ歩行空間整備計画」を策定し、計画に基づき整備を進める必要があります。

\*バリアフリー化：道路や建物等における物理的な障壁のほか、高齢者や障害者等の社会参加を困難にしている制度的、心理的な見えない障壁を取り除くこと。

#### 〔基本目標指標〕

| 項 目                | 平成26年    | 平成30年目標  |
|--------------------|----------|----------|
| 町道の面積（全体）：新設・拡幅改良等 | 348,000㎡ | 351,000㎡ |

## 〔実行計画の内容〕

| 施 策                 |      | ①道路網の整備                                                                                                                                                                |    |    |    |            |    |    |    |
|---------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|------------|----|----|----|
| 方針・目標               |      | 都市基盤としての道路整備を促進し、交通需要に対応した道路計画・整備について、関連機関と調整します。新東名高速道路や国道 246 号バイパスの完成に伴う交通集中による町域での渋滞を考慮した道路整備の検討を関係機関に要望します。県道 711 号線（小田原松田線）の歩道設置事業の継続ほか県道の線形改良・拡幅・歩道設置等を県に要望します。 |    |    |    |            |    |    |    |
| 取り組み                | 実施主体 | 旧プログラム                                                                                                                                                                 |    |    |    | 新プログラム     |    |    |    |
|                     |      | 23                                                                                                                                                                     | 24 | 25 | 26 | 27         | 28 | 29 | 30 |
| 関係機関に対する積極的な要望活動の実施 | 町    | 関係機関と調整・要望                                                                                                                                                             |    |    |    | 関係機関と調整・要望 |    |    |    |

| 施 策             |      | ②町道・生活道路の整備促進、橋梁の計画的な維持管理                                                                                                                                                              |    |    |    |                   |    |    |    |
|-----------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-------------------|----|----|----|
| 方針・目標           |      | 幅員が狭小な道路の拡幅等を進めるとともに道路の維持管理の充実を図り、安全性・利便性を備えた道路の整備を進めます。また、定住化の促進や未利用地の活性化のために必要とする新設改良路線（庶子谷津線や可南沢・中里地内道路）について計画的な整備を進めます。橋梁については、平成 22 年 3 月に橋梁長寿命化修繕計画を策定したことにより、長寿命化や耐震化を計画的に進めます。 |    |    |    |                   |    |    |    |
| 取り組み            | 実施主体 | 旧プログラム                                                                                                                                                                                 |    |    |    | 新プログラム            |    |    |    |
|                 |      | 23                                                                                                                                                                                     | 24 | 25 | 26 | 27                | 28 | 29 | 30 |
| 町道等の効率的・効果的な整備  | 町    | 計画的な整備の評価・見直し                                                                                                                                                                          |    |    |    | 計画的な維持管理・整備の推進    |    |    |    |
| 橋梁の効率的・効果的な維持管理 | 町    | 詳細設計<br>修繕工事                                                                                                                                                                           |    |    |    | 修繕工事・詳細設計<br>修繕工事 |    |    |    |

| 施 策                                              |      | ③歩道整備及びポケットパーク等の整備による歩行空間の確保                                               |    |    |    |             |          |                 |    |
|--------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-------------|----------|-----------------|----|
| 方針・目標                                            |      | 歩道整備及び道路沿いの空地等、少ない面積の土地を利用した小さな公園又は休憩所で、地域の生活環境の向上を図り、気軽に休める憩いの場の整備を推進します。 |    |    |    |             |          |                 |    |
| 取り組み                                             | 実施主体 | 旧プログラム                                                                     |    |    |    | 新プログラム      |          |                 |    |
|                                                  |      | 23                                                                         | 24 | 25 | 26 | 27          | 28       | 29              | 30 |
| ◎重点〈まちづくり戦略〉<br>「（仮称）松田町やすらぎ歩行空間整備計画」の策定及び効果的な整備 | 町    | 整備計画<br>策定                                                                 |    |    |    | 用地交渉・<br>設計 | 整備<br>工事 | 用地<br>交渉・<br>設計 |    |

3. 公共交通

■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

小田急線新松田駅を中心とした地域公共交通の利便性の向上・路線バス空白地帯等の補完が進み、環境にやさしく、だれもが利用しやすい地域交通ネットワークが充実しています。

〔基本目標〕

松田町の公共交通の充実・確保を図るため、公共交通機関に働きかけ、小田急線等の運行体制の充実を図ります。

また、路線バス運行体制の維持と同時に交通弱者等への対策を進め、公共交通サービスの向上に取り組みます。

〔現況と課題〕

- 地域公共交通については、JR御殿場線、私鉄小田急線や路線バスが運行しています。
- 町では、地域公共交通との連携を踏まえ、町独自政策として、学生等を対象に富士急湘南バスの路線バスにおける通学バス定期助成事業を平成21年8月から実施しています。
- 平成24年10月からは、同年9月まで運行した「デマンドバス（\*）運行事業」の実施考察に基づいた、2項目の交通政策(乗合バス運行事業による増発・枝線運行の実施・高齢者バス定期券(通称「まちなりバス65」)助成事業)を追加し、バスの利便性を確保すると同時に、利用の促進を図っています。
- しかしながら、小田急線等の運行体制の充実やバスの経路や本数等、地域公共交通の利便性の向上には課題が残されているため、今後も、地域公共交通の維持もしくは、充実・確保策に取り組む必要があります。

\* デマンドバス：バス等の定時定路運行に対して、デマンド（＝特定の需要）によって運行するバスです。

〔基本目標指標〕

| 項 目                                         | 平成26年 | 平成30年目標 |
|---------------------------------------------|-------|---------|
| 新松田駅を発着するバス系統数                              | 31系統  | 31系統    |
| 寄地域へのバス運行本数(土日を含む)<br>《1週間あたりの「新松田～寄」の往復本数》 | 235本  | 252本    |
| 新松田・松田駅両駅のロマンスカー停車本数<br>(土日を含む)             | 25本   | 27本     |

## 〔実行計画の内容〕

| 施 策          |      | ①鉄道運行体制の充実                                                                   |    |    |    |                   |    |    |    |
|--------------|------|------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-------------------|----|----|----|
| 方針・目標        |      | 町民に利用しやすい新松田駅・松田駅にするために、各市町と連携して鉄道事業者へ運行時間の延長や列車本数の増加を継続的に要望して、町民への利便性を高めます。 |    |    |    |                   |    |    |    |
| 取り組み         | 実施主体 | 旧プログラム                                                                       |    |    |    | 新プログラム            |    |    |    |
|              |      | 23                                                                           | 24 | 25 | 26 | 27                | 28 | 29 | 30 |
| 鉄道事業者への要望の継続 | 町    | 関係市町と連携した継続的な要望活動                                                            |    |    |    | 関係市町と連携した継続的な要望活動 |    |    |    |

| 施 策                                 |                | ②バス交通等の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |                 |    |    |    |
|-------------------------------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-----------------|----|----|----|
| 方針・目標                               |                | <p>路線の整備拡充や運行本数の増便等関係機関に要望します。</p> <p>高齢者や障害児・障害者がスムーズに乗り降りできるようなノンステップバス等、人にやさしいバスへの切り替え促進をバス事業者へ働きかけます。</p> <p>デマンドバスに代わる町独自のバス等交通政策として、環境等に配慮した持続可能な移動手段としてのバスの有用性に着目し、路線の確保・維持及び利便性向上のため、利用促進策(乗合バス運行事業・バス通学バス定期券助成事業・高齢者バス定期券助成事業)のバス交通主要3施策を推進します。</p> <p>また、必要に応じて、バス事業者やタクシー会社、地域住民の方々と相談した上で、新たな交通施策を展開していきます。</p> |    |    |    |                 |    |    |    |
| 取り組み                                | 実施主体           | 旧プログラム                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |    |    |    | 新プログラム          |    |    |    |
|                                     |                | 23                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 24 | 25 | 26 | 27              | 28 | 29 | 30 |
| 路線バスの運行維持対策の推進                      | 事業者<br>町       | 継続的な要望の実施                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    | 継続的な要望の実施       |    |    |    |
| 〈まちづくり戦略〉<br>効果的な交通施策の推進と新たな交通施策の展開 | 町民<br>事業者<br>町 | 町独自の交通政策の実施・見直し                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |    |    |    | 町独自の交通政策の実施・見直し |    |    |    |



## 4. 公園・緑地

### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

公園や児童遊園地の計画的な施設整備や維持管理により、だれもが身近に、気軽に利用できる環境が整っています。

また、緑化推進活動を通じて緑化意識の高揚が図られ、町民の自主的な緑化への取り組みが行われています。

緑化推進活動を通じて緑化意識の高揚を図るとともに、町民の自主的な緑化に対する取り組みを推進しています。

#### 〔基本目標〕

住民憩いの場としての公園や児童遊園地として地域住民に親しまれている施設の維持管理をさらに努め、町民自ら緑を守り育てるだれもが安心して利用できる公園であるように意識の高揚を図っていきます。

緑化推進活動を通じて町民自ら緑を守り育てる担い手となるよう、緑化に対する意識の高揚を図ります。

#### 〔現況と課題〕

- 松田町は豊かな森林を抱え、市街地には酒匂川、川音川の水辺空間があり自然環境に恵まれています。その中に都市公園やその他の公園12箇所、児童遊園地9箇所が整備されています。
- 今後高齢化の進行に伴う高齢者の憩いの場所、子ども達の安全な遊び場所、さらに町民の健康志向の高まりによる活動の場所、防災に対する意識の高揚等公園に求められる機能も多様化し、だれもが利用しやすく安全で魅力ある公園の整備が求められています。
- 今後は、現在ある公園や児童遊園地の維持管理を継続し、地域住民を中心に公園の安全、緑を育て守っていく意識の向上に向けて取り組んでいきます。

#### 〔基本目標指標〕

| 項 目             | 平成26年 | 平成30年目標 |
|-----------------|-------|---------|
| 町民1人当たりの公園・緑地面積 | 17.5㎡ | 17.5㎡   |
| 町の樹（き）「桜」の植栽本数  | 900本  | 1,000本  |



## 〔実行計画の内容〕

| 施 策           |      | ①公園等の整備・維持管理                                                                                                                                            |    |    |    |        |    |    |    |
|---------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|--------|----|----|----|
| 方針・目標         |      | <p>活力ある長寿社会の形成、健康の維持増進、コミュニティの形成等の多様なニーズに対応した公園や児童遊園地の施設整備と機能拡充を進めるとともに維持管理を行います。</p> <p>公園は町民全体の共有財産であるという認識を深め、利用マナーの向上を図るほか、町民の自主的な維持管理の継続を進めます。</p> |    |    |    |        |    |    |    |
| 取り組み          | 実施主体 | 旧プログラム                                                                                                                                                  |    |    |    | 新プログラム |    |    |    |
|               |      | 23                                                                                                                                                      | 24 | 25 | 26 | 27     | 28 | 29 | 30 |
| 最明寺史跡公園等の管理   | 町    | 維持管理                                                                                                                                                    |    |    |    | 維持管理   |    |    |    |
| 児童公園・緑化の整備・推進 | 町    | 維持管理                                                                                                                                                    |    |    |    | 維持管理   |    |    |    |

| 施 策           |      | ②緑化意識の高揚と緑化の推進                                                                           |    |    |    |        |    |    |    |
|---------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|--------|----|----|----|
| 方針・目標         |      | <p>町民の緑化に対する認識を深めるため、広報紙やホームページによる啓発のほか、森林を利用したイベントへの町民参加を促します。町の樹「桜」の植栽等緑化事業を推進します。</p> |    |    |    |        |    |    |    |
| 取り組み          | 実施主体 | 旧プログラム                                                                                   |    |    |    | 新プログラム |    |    |    |
|               |      | 23                                                                                       | 24 | 25 | 26 | 27     | 28 | 29 | 30 |
| 緑化意識の高揚・緑化の推進 | 町    | 事業の推進                                                                                    |    |    |    | 事業の推進  |    |    |    |

| 施 策         |      | ③子どもの館の活動の充実                                           |    |    |    |        |    |    |    |
|-------------|------|--------------------------------------------------------|----|----|----|--------|----|----|----|
| 方針・目標       |      | <p>子どもの夢と創造力を豊かに育てる文化環境の充実を図り、伝統文化を継承し、文化活動を拡充します。</p> |    |    |    |        |    |    |    |
| 取り組み        | 実施主体 | 旧プログラム                                                 |    |    |    | 新プログラム |    |    |    |
|             |      | 23                                                     | 24 | 25 | 26 | 27     | 28 | 29 | 30 |
| 子どもの館の活動の充実 | 町    | 活動充実                                                   |    |    |    | 活動充実   |    |    |    |



| 施 策       |      | ④自然館の活動の充実                               |    |    |    |        |    |    |    |
|-----------|------|------------------------------------------|----|----|----|--------|----|----|----|
| 方針・目標     |      | 松田に残っている自然の魅力を、老若男女を問わず、より多くの町民に伝えていきます。 |    |    |    |        |    |    |    |
| 取り組み      | 実施主体 | 旧プログラム                                   |    |    |    | 新プログラム |    |    |    |
|           |      | 23                                       | 24 | 25 | 26 | 27     | 28 | 29 | 30 |
| 自然館の活動の充実 | 町    | 活動充実                                     |    |    |    | 活動充実   |    |    |    |

| 施 策            |      | ⑤松田山ハーブガーデンの管理                                               |    |    |    |        |    |    |    |
|----------------|------|--------------------------------------------------------------|----|----|----|--------|----|----|----|
| 方針・目標          |      | 指定管理により維持管理を行っているハーブ館・ハーブガーデンに安定した集客を図り、西平畑公園全体の活性化を図っていきます。 |    |    |    |        |    |    |    |
| 取り組み           | 実施主体 | 旧プログラム                                                       |    |    |    | 新プログラム |    |    |    |
|                |      | 23                                                           | 24 | 25 | 26 | 27     | 28 | 29 | 30 |
| 松田山ハーブガーデン活用促進 | 町    | 維持管理                                                         |    |    |    | 維持管理   |    |    |    |
|                |      |                                                              |    |    |    | 新規指定管理 |    |    |    |

| 施 策        |      | ⑥ふるさと鉄道の維持管理                   |    |    |    |           |    |    |    |
|------------|------|--------------------------------|----|----|----|-----------|----|----|----|
| 方針・目標      |      | ふるさと鉄道の維持管理について、指定管理制度導入を進めます。 |    |    |    |           |    |    |    |
| 取り組み       | 実施主体 | 旧プログラム                         |    |    |    | 新プログラム    |    |    |    |
|            |      | 23                             | 24 | 25 | 26 | 27        | 28 | 29 | 30 |
| ふるさと鉄道活用促進 | 町    | 委託による維持管理                      |    |    |    | 委託による維持管理 |    |    |    |
|            |      |                                |    |    |    | 指定管理の導入   |    |    |    |

| 施 策         |      | ⑦パークゴルフ場の維持管理                      |    |    |    |        |    |    |    |
|-------------|------|------------------------------------|----|----|----|--------|----|----|----|
| 方針・目標       |      | パークゴルフ場維持管理委託を指定管理制度により引き続き行っています。 |    |    |    |        |    |    |    |
| 取り組み        | 実施主体 | 旧プログラム                             |    |    |    | 新プログラム |    |    |    |
|             |      | 23                                 | 24 | 25 | 26 | 27     | 28 | 29 | 30 |
| パークゴルフ場活用促進 | 町    | 維持管理                               |    |    |    | 維持管理   |    |    |    |



## 5. 住宅対策

### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

民間による自然と共生した一区画あたりにゆとりある宅地開発が進み、良好な住環境が形成されております。また、住宅に困窮している方や、高齢者、障害児・障害者の方にも町が建設する町営住宅で、安全で安心して暮らせる住環境を提供でき、だれもが暮らしやすい「まち」になっています。

高齢者や障害児・障害者にもやさしい安全で安心できるバリアフリー住宅やスマートハウス等質の高い住宅が増えつつあります。民間事業等にあっては、松田町まちづくり条例による良好な住宅・宅地の誘導が進み、良好な住環境が形成されています。

その結果、安心して住みやすい住環境が形成され、誰もが快適に暮らしています。

#### 〔基本目標〕

借地・町有地に建設され老朽化した町営住宅の移転・集約化、借地の返還、返還地の民間による宅地開発、町有地の活用を進めます。また、少子高齢化の進行と人口減少社会の到来を見すえ、社会問題化している空家の利活用を進めると同時に、地域特性を活かした対応を進めます。

#### 〔現況と課題〕

- 松田町には、7団地93戸の町営住宅があり、その構造としては1団地16戸が耐火構造住宅、1団地の一部である32戸が簡易耐火構造平屋建て住宅、その他はすべて木造住宅となっています。
- 河内住宅（16戸）は「松田町公営住宅等長寿命化計画」にもとづき屋上防水、外壁塗装などの機能向上、維持管理を行っていきます。
- 河内住宅以外の住宅については、老朽化が著しいことから、入居者の安全確保のためにも、集約化事業の検討を進めるものとし、退去後の住宅については解体を基本として、その跡地利用について十分検討するとともに借地の返還も計画的に進める必要があります。  
特に仲町屋町営住宅敷地については町営仲町屋臨時駐車場と併せ、将来的に高度利用を図ります。
- 籠場町有地は、河内住宅の隣接地であり、当該エリアの効率的利用を図る観点からも、公営住宅集約化事業として新たな公営住宅を建設し、老朽化した住宅の入居者の移転先とするほか、幅広い対象者に安心して居住していただくものを目指します。
- （集約化事業を進めると同時に当該事業において移転を余儀なくされる入居者の方の選択肢を広げ、また生活環境の変化を最小限に抑えるため）、既存民間住宅の借上げによる町営住宅供給を調査・研究していきます。また、既成市街地の民間住宅借上げにより、建替えや災害時等の一時的・緊急的需要への対応を含んだ地域の町営住宅需要の変化に対応した供給量調整も可能になります。ただし、それらを行うには効率的な仕組みの構築が不可欠で、物件情報の収集等さまざまなルール整備が必要であり、町の実情を踏まえた検討・実践が求められるため、町と宅地建物取引業者等との連携した協議会を立ち上げる必要があります。
- 開発事業等により宅地の造成や共同住宅の建設が行われていますが、民間活力の導入等による住宅の整備が促進されやすい環境の整備が必要となっています。また、良好な住宅地・住環境が形成されるよう、松田町まちづくり条例による良好な開発を誘導します。
- 人口減少や高齢化の進展等により、管理されない空家が増加傾向にあると言われていますが、現状、町内にある空家の実態が把握できておりません。まずは、実態を把握した上で、そのような空家に起因する、防災面（倒壊のおそれ等）、景観上の支障（街並みが歯抜けになる等）、衛生上の問題（雑草の繁茂、ゴミの不法投棄等）、防犯上の問題（不審者の居住等）の発生を解消する取り組みが必要です。

〔基本目標指標〕

| 項 目                              | 平成26年    | 平成30年目標   |
|----------------------------------|----------|-----------|
| 町営住宅管理戸数                         | 93戸      | 75戸       |
| 松田町まちづくり条例の対象となった良好な住宅・宅地開発の誘導実績 | 52戸（4年間） | 132戸（8年間） |

〔実行計画の内容〕

| 施 策                                         |                                                                                                                                                                                                 | ①住宅の整備                      |        |    |    |    |                       |    |    |           |
|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------|----|----|----|-----------------------|----|----|-----------|
| 方針・目標                                       | 河内住宅以外は、老朽化が激しく、また、借地に建設されているところは、退去後順次取壊し、町営住宅の再編を進め、新たに町営住宅を建設します。また、テーマ性を持った新たな住宅地等の整備を進めるとともに、民間等による町営住宅供給の促進を調査・研究します。<br>民間活力の導入による住宅建設が促進されるよう支援を進めます。<br>また、定住化につながる定住促進制度・事業を積極的に進めます。 |                             |        |    |    |    |                       |    |    |           |
|                                             | 取り組み                                                                                                                                                                                            | 実施主体                        | 旧プログラム |    |    |    | 新プログラム                |    |    |           |
|                                             |                                                                                                                                                                                                 |                             | 23     | 24 | 25 | 26 | 27                    | 28 | 29 | 30        |
| 〈まちづくり戦略〉<br>町営住宅建設                         | 町                                                                                                                                                                                               |                             |        |    |    |    | 建設工事<br>実施設計          |    |    |           |
| 老朽化した町営住宅の解体                                | 町                                                                                                                                                                                               | 現入居者の退去の<br>都度実施            |        |    |    |    | 現入居者の退去の<br>都度実施      |    |    |           |
| 〈まちづくり戦略〉<br>民間等による町営住宅供給の<br>調査・研究         | 事業者<br>町                                                                                                                                                                                        | 制度導入に向け需給バランスを含め<br>調査研究を実施 |        |    |    |    |                       |    |    |           |
| 〈まちづくり戦略〉<br>住宅取得促進事業の推進及び<br>新制度の研究・実行・周知  | 町                                                                                                                                                                                               | 制度導入<br>制度運用<br>制度見直し       |        |    |    |    | 新制度研究・実行・周知<br>制度運用   |    |    |           |
| ◎重点 〈まちづくり戦略〉<br>民間住宅の建設促進、良好な<br>住宅宅地開発の誘導 | 事業者<br>町                                                                                                                                                                                        | 事業の促進・誘導                    |        |    |    |    | 条例による誘導の継続            |    |    |           |
| 空家・空地等の実態調査                                 | 町                                                                                                                                                                                               |                             |        |    |    |    | 調査実施                  |    |    | 情報<br>更新  |
| ◎重点 〈まちづくり戦略〉<br>空家等の利活用                    | 町民<br>事業者<br>町                                                                                                                                                                                  | 制度の推進                       |        |    |    |    | 新制度の研究・実行・周知<br>制度の拡充 |    |    |           |
| 空家等取り壊し                                     | 町民<br>事業者<br>町                                                                                                                                                                                  |                             |        |    |    |    |                       |    |    | 除去等<br>実施 |

## 6. 水道事業

### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

水道施設の更新計画は、水道ビジョンの計画に基づき、計画的に実施しています。  
漏水調査を実施し、その結果に基づき修繕を行い、無駄な経費の削減と資源の有効化を図っています。

#### 〔基本目標〕

町民の快適な暮らしを支え、いつでも安心して飲める水の安定供給を行うため、地震等の災害に強いライフライン（\*）として、施設の更新整備を計画的に進めます。

経営の健全化を図るため事業・事務の効率的な執行に努め、新たな収納体制の構築を進めます。また、使用料収入の減少と、今後も更に進む水道施設の更新費用に対する収支のバランスを見据えた経営の健全化に取り組みます。

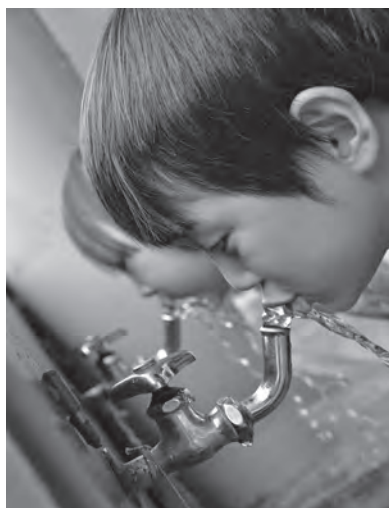
#### 〔現況と課題〕

- 今後も安全で安定した給水の確保や経営基盤の強化を図るため、施設の耐震化並びに施設の更新を水道ビジョンの計画に基づき順次進めていくことが必要です。
- 上水道事業会計では、給水収益が減収になっていることから、営業外収益の加入負担金に頼った経営状況にあるので、経営の健全化を図り、場合によっては水道使用料の見直しが必要です。
- 寄簡易水道会計でも使用料収入の減少が想定される中、設備・施設の維持・管理コストの増大が予想されることから、事業・事務の効率的な運営に取り組むとともに、経営の健全化を図り、場合によっては水道使用料の見直しが必要です。また、安定した経営のためには、地方公営企業法による企業会計の考え方や手法を取り入れるとともに、導入の検討が必要です。
- 寄簡易水道では、老朽化した設備・施設を耐震化に配慮して、計画的な更新が必要です。
- 多様化するお客様の生活様式に対応する新たな収納体制についても検証が必要です。

\*ライフライン：電気・ガス・水道等の公共公益設備や電話やインターネット等の通信設備、圏内外に各種物品を搬出入する運送や人の移動に用いる鉄道等の物流機関など、都市機能を維持し人々が日常生活を送る上で必須の諸設備を言う。

#### 〔基本目標指標〕

| 項 目    | 平成26年 | 平成30年目標 |
|--------|-------|---------|
| 上水道普及率 | 99.8% | 100.0%  |



〔実行計画の内容〕

| 施 策                   |      | ①施設整備と維持管理の充実（松田地区）           |    |    |    |           |    |    |    |
|-----------------------|------|-------------------------------|----|----|----|-----------|----|----|----|
| 方針・目標                 |      | 老朽管や施設の耐震化計画等、整備を進め耐震化率を高めます。 |    |    |    |           |    |    |    |
| 取り組み                  | 実施主体 | 旧プログラム                        |    |    |    | 新プログラム    |    |    |    |
|                       |      | 23                            | 24 | 25 | 26 | 27        | 28 | 29 | 30 |
| 計画的な老朽管の布設替えと施設の更新・整備 | 町    | 計画的な整備・推進                     |    |    |    | 計画的な整備・推進 |    |    |    |
| 水質管理計画に基づく水質管理        | 町    | 水質検査の実施                       |    |    |    | 水質検査の実施   |    |    |    |

| 施 策                       |      | ②施設整備と安定供給（寄地区）                           |    |    |    |           |    |    |    |
|---------------------------|------|-------------------------------------------|----|----|----|-----------|----|----|----|
| 方針・目標                     |      | 安定供給するため、給配水管の計画的な布設替えと、施設改修等の耐震化事業を進めます。 |    |    |    |           |    |    |    |
| 取り組み                      | 実施主体 | 旧プログラム                                    |    |    |    | 新プログラム    |    |    |    |
|                           |      | 23                                        | 24 | 25 | 26 | 27        | 28 | 29 | 30 |
| 給水管の布設替えと施設の更新・整備         | 町    | 計画的な更新・整備                                 |    |    |    | 計画的な更新・整備 |    |    |    |
| 経営の健全化及び施設の更新計画も含め施設整備の促進 | 町    | 事業の整備・促進                                  |    |    |    | 事業の整備・促進  |    |    |    |

| 施 策         |      | ③経営の健全化（松田地区）                        |    |    |    |           |    |    |    |
|-------------|------|--------------------------------------|----|----|----|-----------|----|----|----|
| 方針・目標       |      | 3年から5年ごとに料金体系を含め経営計画を立て、経営の健全化を図ります。 |    |    |    |           |    |    |    |
| 取り組み        | 実施主体 | 旧プログラム                               |    |    |    | 新プログラム    |    |    |    |
|             |      | 23                                   | 24 | 25 | 26 | 27        | 28 | 29 | 30 |
| 水道使用料適正化の検討 | 町    | 経営の健全化の推進                            |    |    |    | 経営の健全化の推進 |    |    |    |

| 施 策         |      | ④経営の健全化（寄地区）                                  |    |    |    |           |    |    |    |
|-------------|------|-----------------------------------------------|----|----|----|-----------|----|----|----|
| 方針・目標       |      | 3年から5年ごとに料金体系を含め経営状況を分析し、料金の適正化について、見直しを進めます。 |    |    |    |           |    |    |    |
| 取り組み        | 実施主体 | 旧プログラム                                        |    |    |    | 新プログラム    |    |    |    |
|             |      | 23                                            | 24 | 25 | 26 | 27        | 28 | 29 | 30 |
| 水道使用料適正化の検討 | 町    | 経営の健全化の推進                                     |    |    |    | 経営の健全化の推進 |    |    |    |

## 7. 下水道・生活排水施設整備

### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

下水道整備事業が促進され、生活環境が向上しています。  
生活環境の向上及び水源環境保全向上に向けた整備が進んでいます。

#### 〔基本目標〕

生活環境の向上、河川の水質保全、浸水の防除による安全性の確保という役割を担う下水道（汚水整備・雨水整備）は、公共下水道事業計画に基づき事業を進めます。

処理区域においては、施設の維持管理を行い、未接続世帯に対して下水道への接続について積極的に営業活動を行い、接続率の向上に取り組む必要があります。また、引き続き事務の効率化を図り事業運営に企業性を発揮した経営基盤の強化を進めます。

水源林地域である寄地区の生活排水処理施設の整備事業を計画的に進めることにより、生活環境の向上・水源環境の保全に取り組めます。

#### 〔現況と課題〕

- 公共下水道区域については、維持管理及び施設の更新を進めるとともに、接続率の向上を図り、事業運営に企業性を発揮した経営の健全化に取り組む必要があります。
- 酒匂川流域処理場の維持管理コスト面からも、施設の点検調査を引き続き行い、修繕も必要となります。また、多量降雨時の浸水被害防止のために雨水排水施設整備も引き続き進める必要があります。
- 水源林地域である寄地区は、水源環境保全向上のためにも生活排水施設整備を進めていく必要があります。
- 污水管の長寿命化対策及び維持管理のために、污水管のカメラ調査を行い、補修箇所についても、順次、補修する必要があります。また、将来的には地方公営企業法による企業会計の導入も視野に入れる必要があります。
- 下水道BCPの策定を行う必要があります。  
（被災時における人材や資機材の不足等制約条件を考慮した対応計画。高いレベルで下水道の機能を維持回復することを目的にします。）

#### 〔基本目標指標〕

| 項 目             | 平成26年   | 平成30年目標 |
|-----------------|---------|---------|
| 下水道整備率（松田地区）    | 91.0%   | 97.7%   |
| 水洗化戸数（松田地区）     | 3,575世帯 | 3,850世帯 |
| 生活排水施設整備世帯（寄地区） | 117世帯   | 142世帯   |

〔実行計画の内容〕

| 施 策       |      | ①松田地区の公共下水道事業の推進                                                                         |    |    |    |                |    |    |    |
|-----------|------|------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----------------|----|----|----|
| 方針・目標     |      | 流域別下水道整備総合計画の見直しに伴い、下水道計画の見直しを進め経営計画を立て料金の見直しをします。<br>公共下水道事業計画区域の整備を図りながら、下水道への接続を促します。 |    |    |    |                |    |    |    |
| 取り組み      | 実施主体 | 旧プログラム                                                                                   |    |    |    | 新プログラム         |    |    |    |
|           |      | 23                                                                                       | 24 | 25 | 26 | 27             | 28 | 29 | 30 |
| 下水道事業の推進  | 町    | 経営計画の実施・料金の見直し                                                                           |    |    |    | 経営計画の実施・料金の見直し |    |    |    |
| 下水道への接続促進 | 町    | 事業の促進                                                                                    |    |    |    | 事業の促進          |    |    |    |

| 施 策                          |      | ②寄地区の生活排水整備                                                               |    |    |    |                 |    |    |    |
|------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-----------------|----|----|----|
| 方針・目標                        |      | 生活排水処理施設整備計画に沿った処理施設の計画的な整備を進めます。松田町生活排水処理施設運営審議会の答申を基に、関係機関と調整し方針を決定します。 |    |    |    |                 |    |    |    |
| 取り組み                         | 実施主体 | 旧プログラム                                                                    |    |    |    | 新プログラム          |    |    |    |
|                              |      | 23                                                                        | 24 | 25 | 26 | 27              | 28 | 29 | 30 |
| 〈まちづくり戦略〉<br>生活排水処理施設整備事業の推進 | 町    | 計画の見直し・検討・調整・整備                                                           |    |    |    | 計画の見直し・検討・調整・整備 |    |    |    |
|                              |      | 水源環境<br>保全調査委託 測量                                                         |    |    |    | 設計 工事           |    |    |    |

## 1. 消防・救急

## ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

消防団の活動拠点である詰所には、消火、風水害、地震災害に対応できる装備品が充実しています。平常時に行っている火災予防運動の推進、消火活動、訓練、風水害での警備、現場対応等の活動を通じ消防団の重要性がより認識され、団員の意識の高揚も図られ、地震災害対応資機材の使用訓練も充実して実施されており、迅速、的確に消防団、自主防災会、消防団OB、小田原市消防本部等が一丸となって災害等に対応することにより、町民の安心・安全が保障されています。

## 〔基本目標〕

町民の安全・安心に対する期待や関心の高まりに対応できるよう、消防力強化の必要があるため、組織体制の強化を図るとともに、職員・団員・自主防災会の人材育成のため研修や訓練を充実させます。

町民・企業等に消防団に対しての理解と協力を得るため、広報・広聴活動の強化を図ります。  
小田原市消防本部の協力により町民に、火災予防と防災意識の啓発を図ります。  
あらゆる災害等に対して町民の安全確保が図れるよう整備を進めます。

## 〔現況と課題〕

- 町の消防・救急体制は、小田原市消防本部で担っていますが、消防・救急業務が増大する中で地震・風水害等の自然災害、テロ等による特殊災害への対応等、消防の果たす役割が多様化しています。
- 消防団は、火災予防、消火活動、自然災害等の対応に努めています。
- 消防力強化のため消防施設の整備、装備の充実を図る必要があります。
- 町民の安全・安心な暮らしの実現に向けて、町防災行政無線のデジタル化への移行、古くなった消防車両の更新に取り組んでいく必要があります。
- 火災やその他の災害に対して被害を最小限度に抑えるためには、町民一人ひとりが「自らの安全は自らが守る」という日頃の心構えと備えや地域との連携が必要です。
- 住宅用火災警報器の設置義務化に伴い、未設置家庭を把握し、逃げ遅れ等による被害防止を図るため設置を促進する必要があります。
- 消防団員の高齢化や、団員の減少に歯止めをかけるため、自治会と協力しながら団員の確保に努める必要があります。  
また、情勢に応じて消防団の組織見直しについて検討していく必要があります。
- 消防団は、水防団、遭難救助隊(5～7分団)を兼務しています。
- 町民一人ひとりができる救命措置の一助として、自動体外式除細動器(AED)の配置場所を増やす必要があります。

## 〔基本目標指標〕

| 項 目               | 平成26年  | 平成30年目標 |
|-------------------|--------|---------|
| 住宅用火災警報器設置割合      | 30.71% | 50%     |
| 自動体外式除細動器(AED)設置数 | 21箇所   | 30箇所    |

## 〔実行計画の内容〕

| 施 策           |                   | ①消防組織・体制の充実                                                                                                                                                      |    |    |    |                    |               |    |    |
|---------------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|--------------------|---------------|----|----|
| 方針・目標         |                   | 消防通信設備の高度化を進め、通信連絡体制の強化を図ります。また、耐震性のある消防団詰所への建替えと機能性に優れた消防自動車への更新を計画的に推進します。<br>大規模な災害に備え、近隣相互の応援体制の充実・強化を進めるとともに小田原市消防本部との連携を図ります。<br>消防団員の確保・訓練・教育に積極的に取り組みます。 |    |    |    |                    |               |    |    |
| 取り組み          | 実施主体              | 旧プログラム                                                                                                                                                           |    |    |    | 新プログラム             |               |    |    |
|               |                   | 23                                                                                                                                                               | 24 | 25 | 26 | 27                 | 28            | 29 | 30 |
| 消防の広域化後の連携強化  | 関係機関<br>関係市町<br>町 | 広域化完了 連携の強化<br>-----▶                                                                                                                                            |    |    |    |                    |               |    |    |
| 消防団詰所の建替え     | 町                 | 第7分団<br>詰所建替え<br>--▶                                                                                                                                             |    |    |    | 検討                 | 建替え<br>-----▶ |    |    |
| 消防自動車の更新      | 町                 | 第1分団消防<br>ポンプ自動車更新<br>-----▶                                                                                                                                     |    |    |    | 検討・更新<br>-----▶    |               |    |    |
| 消防団員の確保・訓練・教育 | 町                 | 確保・訓練・教育<br>-----▶                                                                                                                                               |    |    |    | 確保・訓練・教育<br>-----▶ |               |    |    |
| 町防災行政無線のデジタル化 | 町                 |                                                                                                                                                                  |    |    |    | 更新の検討<br>-----▶    |               |    |    |

| 施 策           |           | ②火災予防の推進                                                         |    |    |    |                      |           |    |    |
|---------------|-----------|------------------------------------------------------------------|----|----|----|----------------------|-----------|----|----|
| 方針・目標         |           | <p>町民に対し、火災予防に関する防火防災意識の啓発を進めます。</p> <p>住宅用火災警報器の早期設置を促進します。</p> |    |    |    |                      |           |    |    |
| 取り組み          | 実施主体      | 旧プログラム                                                           |    |    |    | 新プログラム               |           |    |    |
|               |           | 23                                                               | 24 | 25 | 26 | 27                   | 28        | 29 | 30 |
| 防火意識の啓発       | 関係機関<br>町 | 消防団等による<br>啓発・広報<br>→                                            |    |    |    | ホームページによる<br>広報<br>→ |           |    |    |
| 住宅用火災警報器の設置促進 | 関係機関<br>町 | 啓発・広報<br>→                                                       |    |    |    | 状況<br>調査             | 設置推進<br>→ |    |    |



## 2. 防災対策

### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

町民一人ひとりが「自らの地域と身体の安全は自らが守る」という理念に基づき、日頃より被害を少しでも減らすことを意識した「減災活動」に取り組んでいます。

各自主防災会では、災害に備えて防災資機材倉庫や備蓄食料、資機材の整備が充実し、防災訓練、講習会等で、被害情報収集・伝達訓練、消火訓練、避難訓練、炊き出し訓練等が実施され、地域の皆で助け合うことにより強い絆が生まれ、各種災害に対しての防災体制が整えられ、災害が発生しても速やかな対応と被害の拡大を防止する体制が整っています。

町では、Jアラート、同報無線、あんしんメール、消防団による広報等により、住民の方への災害情報伝達体制が整備され、多くの方が避難される町施設には、避難所の運営に必要な食糧と資機材の準備が整っています。

また、松田町耐震改修促進計画に基づき建築物の耐震化が徐々に進んでおり、安全・安心なまちづくりが総合的に整備されています。

### 〔基本目標〕

自らの身体の安全は自らが守るための「減災活動」を推進します。  
自らの地域は自らが守れるよう自主防災組織の活動強化を支援します。  
地域防災計画に基づく、総合的な防災体制の充実を図ります。  
災害時要援護者の支援体制の整備を進めます。  
ゲリラ豪雨等水害・土砂災害に対応する避難体制の整備を進めます。

### 〔現況と課題〕

- 本町は東海地震を含め5つの大規模な地震の発生が予想されており、減災に向けた長期的なまちづくりを進めていく必要があります。
- 被害想定区域外の市町やコンビニエンスストア等との災害協定の締結について検討する必要があります。
- 災害発生時の迅速な対応によって町民の生命、身体及び財産を守る必要があります。
- 東日本大震災等を契機に自主防災組織の重要性が再認識されていることから、関係機関、地域住民、町の連携のもと、防災体制の一層の充実を図っていく必要があります。
- 近年、台風や集中豪雨による水害・土砂災害等が発生する危険性もあり、このような災害の発生に備え、避難勧告・避難指示の基準や避難方法等を明確にするとともに、町民の防災意識の高揚を図り、地域が一体となった総合的な防災対策や消防団・自主防災組織の連携強化を進めていく必要があります。
- 建築物の耐震化については、耐震改修促進法にもとづく松田町耐震改修促進計画（平成22年3月）を策定したことにより、計画の推進を図っていく必要があります。
- 地域防災計画については、災害に強いまちづくりを進めるために、修正の必要が生じた場合は計画を見直します。
- 土砂災害特別警戒区域等の安全対策について、特別警報や土砂災害警戒情報等が発令される前の段階で必要と判断した場合は、速やかに避難勧告や避難指示を対象者に発令し退避させる必要があります。
- 自助・共助・公助・近助の意識高揚が必要です。
- 同報無線の難聴対策を実施する必要があります。
- 防災訓練と合せて国民保護計画に基づく避難訓練を実施する必要があります。

- 風水害から身を守るために避難所までの経路、危険箇所が把握できる洪水ハザードマップを平成26年度に作成しました。
- 土砂災害から身を守るために避難所までの経路、危険箇所が把握できる土砂災害ハザードマップを平成26年度に作成しました。

〔基本目標指標〕

| 項 目               | 平成26年  | 平成30年目標 |
|-------------------|--------|---------|
| 防災訓練への参加者数        | 2,647人 | 3,300人  |
| 木造住宅耐震診断の活用実績（累計） | 14件    | 34件     |
| あんしんメール登録件数       | 1,801件 | 2,500件  |
| 災害協定締結件数          | 47件    | 55件     |



## 〔実行計画の内容〕

| 施 策                       |           | ①防災体制の充実                                          |    |    |    |                                               |    |    |    |
|---------------------------|-----------|---------------------------------------------------|----|----|----|-----------------------------------------------|----|----|----|
| 方針・目標                     |           | 地域防災計画に基づき、防災対策を進めます。<br>自主防災組織の充実を図り、その活動を支援します。 |    |    |    |                                               |    |    |    |
| 取り組み                      | 実施主体      | 旧プログラム                                            |    |    |    | 新プログラム                                        |    |    |    |
|                           |           | 23                                                | 24 | 25 | 26 | 27                                            | 28 | 29 | 30 |
| 〈まちづくり戦略〉<br>地域防災計画の見直し   | 町         | 見直し 計画実施<br>-----▶                                |    |    |    | 計画実施・内容の見直し<br>-----▶<br>防災教育研修会の実施<br>-----▶ |    |    |    |
| 関係機関との連携強化と新たな<br>防災協定の締結 | 関係機関<br>町 | 締結・連携強化に伴う<br>調整<br>-----▶                        |    |    |    | 締結・連携強化に伴う<br>調整<br>-----▶                    |    |    |    |

| 施 策                                     |                 | ②自主防災組織力の向上                          |    |    |    |                           |    |    |    |
|-----------------------------------------|-----------------|--------------------------------------|----|----|----|---------------------------|----|----|----|
| 方針・目標                                   |                 | 広報活動や防災訓練の実施等を行い、自主防災組織の防災力の向上を図ります。 |    |    |    |                           |    |    |    |
| 取り組み                                    | 実施主体            | 旧プログラム                               |    |    |    | 新プログラム                    |    |    |    |
|                                         |                 | 23                                   | 24 | 25 | 26 | 27                        | 28 | 29 | 30 |
| 防災訓練の実施                                 | 町民<br>関係機関<br>町 | 実施・評価・改善<br>-----▶                   |    |    |    | 実施・評価・改善<br>-----▶        |    |    |    |
| ◎重点 〈まちづくり戦略〉<br>自主防災組織の育成・支援           | 町民<br>関係機関<br>町 | 防災教育研修会の実施<br>-----▶                 |    |    |    | 防災教育研修会の実施<br>-----▶      |    |    |    |
| 〈まちづくり戦略〉<br>地域での高齢者や障害児者の<br>災害時避難等の支援 | 町               | 整備<br>-----▶                         |    |    |    | 整備・連絡体制等の<br>整備<br>-----▶ |    |    |    |

| 施 策            |           | ③防災施設整備等の推進                                                                              |    |    |    |                    |    |    |    |
|----------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|--------------------|----|----|----|
| 方針・目標          |           | <p>正確で迅速な情報伝達ができるよう防災行政情報提供設備等の施設整備を進めます。</p> <p>耐震性貯水槽の設置や、災害時用飲料水に適した井戸の確保に取り組みます。</p> |    |    |    |                    |    |    |    |
| 取り組み           | 実施主体      | 旧プログラム                                                                                   |    |    |    | 新プログラム             |    |    |    |
|                |           | 23                                                                                       | 24 | 25 | 26 | 27                 | 28 | 29 | 30 |
| 防災行政情報提供設備等の整備 | 町         | エリアメール・あんしんメールの活用促進<br>個別受信機補助                                                           |    |    |    | Jアラートやハザードマップの活用推進 |    |    |    |
| 防災備蓄品の整備       | 関係団体<br>町 | 物品・食糧備蓄                                                                                  |    |    |    | 物品・食糧備蓄            |    |    |    |
| 飲料用井戸の確保       | 町民<br>町   |                                                                                          |    |    |    | 事業推進               |    |    |    |

| 施 策                          |                | ④災害に強いまちづくりの推進                                                                       |    |    |    |                                     |    |    |    |
|------------------------------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-------------------------------------|----|----|----|
| 方針・目標                        |                | <p>建物の倒壊を防ぐため、耐震改修促進計画により、建物の耐震化を進めます。また、木造住宅の耐震診断及び耐震改修を支援するほか、ブロック塀の倒壊防止を進めます。</p> |    |    |    |                                     |    |    |    |
| 取り組み                         | 実施主体           | 旧プログラム                                                                               |    |    |    | 新プログラム                              |    |    |    |
|                              |                | 23                                                                                   | 24 | 25 | 26 | 27                                  | 28 | 29 | 30 |
| ◎重点〈まちづくり戦略〉<br>耐震改修促進計画の推進  | 町民<br>事業者<br>町 | 計画の推進                                                                                |    |    |    | 計画の見直し・推進                           |    |    |    |
| 木造住宅耐震診断の推進                  | 町民<br>町        | 耐震診断の推進<br>補助内容見直し                                                                   |    |    |    | 耐震診断の推進                             |    |    |    |
| 生垣設置の推進                      | 町民<br>町        | 事業の推進・見直し                                                                            |    |    |    | 事業の推進・見直し                           |    |    |    |
| 木造住宅耐震診断改修の推進                | 町民<br>事業者<br>町 | 計画の推進                                                                                |    |    |    | 補助制度の創設・推進                          |    |    |    |
| 応急危険度判定士、木造住宅<br>耐震実務者の登録の推進 | 町              |                                                                                      |    |    |    | 応急危険度判定士の登録の推進<br>木造住宅耐震診断実務者の登録の推進 |    |    |    |

### 3. 防犯対策

#### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

各地域では自主防犯団体が活発に活動し、広報・パトロール・幼児、児童、生徒、高齢者の見守りが実施されています。町と各自主防犯団体、自治会、PTA、警察署等を含めた防犯対策のネットワークが構築をされており、町民の防犯に対する意識高揚と防犯力の向上が図られ、犯罪の発生件数が少なく安全安心を実感できるまちになっています。

また、犯罪防止のための環境対策として防犯灯のLED化や増設、道路照明灯等の整備が進み、夜間でも安全に通行できます。

#### 〔基本目標〕

地域と連携した防犯活動が実施できるよう自主防犯団体の活動を支援し、防犯組織の育成強化を図ります。

犯罪のない明るいまちづくりを推進するため、町、自治会、学校、PTA、警察と自主防犯団体が協力して防犯活動を実施し、地域の防犯力向上に努めます。

子どもや高齢者を犯罪から守るため、安全教育教室の実施や通学路等の安全点検・防犯活動を推進します。

地域と関係機関と連携しながら、青少年の非行や犯罪を防止するよう努めます。

各世代に合わせた防犯安全事業の実施や広報、ホームページ等を通じて、防犯に関する情報を提供し、町民一人ひとりが、犯罪から自ら身を守る、地域の犯罪は皆で未然に防ぐといった防犯意識の高揚に努めます。

#### 〔現況と課題〕

- ますます巧妙化している振り込め詐欺、インターネットを悪用した犯罪等が多様化しており、安全で安心して生活ができるよう町民一人ひとりの防犯意識の向上が求められています。
- 青少年による犯罪も依然としてあり、低年齢化も進んでいます。
- 窃盗事件としては自転車、オートバイの盗難が多い傾向にあります。
- 関係機関との防犯対策のネットワークにより防犯体制の整備を進めるとともに、青少年の非行防止を含む、地域ぐるみの防犯活動を進める必要があります。
- 自主防犯団体と関係機関と連携した防犯パトロール等の防犯体制の整備・充実が必要です。
- あんしんメールや同報無線等によるきめ細かな情報発信をすることで、防犯意識を高める必要があります。
- 夜間の防犯対策として、防犯灯を必要に応じて設置していく必要があります。
- 犯罪の多い場所では、防犯カメラを設置することにより、犯罪抑制を進める必要があります。
- 自主防犯団体による地域のパトロール活動が実施されています。
- 松田警察署と連携し、暴力追放推進事業を展開しています。
- 児童改札機通過情報提供サービスを継続して実施していく必要があります。

〔基本目標指標〕

| 項 目       | 平成26年     | 平成30年目標 |
|-----------|-----------|---------|
| 犯罪発生件数    | 110件（H25） | 80件     |
| 防犯灯の設置箇所数 | 1,215灯    | 1,230灯  |
| 自主防犯団体    | 14団体      | 20団体    |

〔実行計画の内容〕

| 施 策                                                    |           | ①防犯体制の強化・啓発                                                                                                  |    |    |    |         |    |    |    |
|--------------------------------------------------------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---------|----|----|----|
| 方針・目標                                                  |           | 警察や自主防犯団体、自治会、その他の関係機関と連携し防犯講座の開催、パトロールによる防犯体制の強化を図るとともに、情報発信も積極的に展開します。<br>青少年の非行を防止するため、学校、家庭、地域との連携を進めます。 |    |    |    |         |    |    |    |
| 取り組み                                                   | 実施主体      | 旧プログラム                                                                                                       |    |    |    | 新プログラム  |    |    |    |
|                                                        |           | 23                                                                                                           | 24 | 25 | 26 | 27      | 28 | 29 | 30 |
| 地域防犯組織の育成・支援                                           | 関係団体<br>町 | 育成・支援                                                                                                        |    |    |    | 育成・支援   |    |    |    |
| 防犯パトロールの定期的な実施                                         | 関係団体<br>町 | 定期的に実施                                                                                                       |    |    |    | 定期的に実施  |    |    |    |
| ◎重点〈まちづくり戦略〉<br>あんしんメール・同報無線・<br>広報・パンフレット等による<br>情報発信 | 町         | 情報発信                                                                                                         |    |    |    | 情報発信    |    |    |    |
| 防犯カメラ設置                                                | 町         | 設置・維持管理                                                                                                      |    |    |    | 設置・維持管理 |    |    |    |

| 施 策                      |           | ②安全な環境づくりの推進                                               |    |    |    |                        |    |    |    |
|--------------------------|-----------|------------------------------------------------------------|----|----|----|------------------------|----|----|----|
| 方針・目標                    |           | 夜間の犯罪を未然に防止するため、防犯灯の設置を進めるとともに、生活空間での犯罪危険箇所の点検及び注意喚起を進めます。 |    |    |    |                        |    |    |    |
| 取り組み                     | 実施主体      | 旧プログラム                                                     |    |    |    | 新プログラム                 |    |    |    |
|                          |           | 23                                                         | 24 | 25 | 26 | 27                     | 28 | 29 | 30 |
| 計画的な防犯灯の設置・犯罪<br>危険箇所の点検 | 関係団体<br>町 | 計画的設置                                                      |    |    |    | 町での維持管理、<br>設置点検・修繕の実施 |    |    |    |

## 4. 交通安全対策

### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

自治会、学校、会社、警察、交通指導隊等と一体となり幼児から高齢者までの交通事故防止教育、自転車マナーアップ教育、飲酒運転根絶運動等が幅広く実施され、交通安全意識の高揚が図られることにより、交通安全に対する思いやりの心が育まれ、町民一人ひとりが、交通事故防止運動に取り組み事故の減少につながっています。

駅周辺や交通事故多発地点については、交通安全施設・道路拡幅・歩道等の整備が進み、町全体に交通弱者である子どもや高齢者にやさしい交通環境が整備され、交通事故防止対策が推進されています。

交通安全教育の普及、道路照明灯等の整備が順次進められてきた結果、町全体が安全で安心な住みよい町となっています。

#### 〔基本目標〕

幼児、小・中学生、高齢者を中心に交通安全意識の普及・啓発に努め、交通安全運動を進めます。  
交通安全施設の整備等交通事故防止対策を進めます。

#### 〔現況と課題〕

- 近隣市町との連携による広域交通体系の検討、自治会、警察署との連携による交通安全施設の整備が進められてきました。
- 交通指導隊、関係機関の協力により幼児・小中学生・高齢者を対象に交通安全教育を実施してきました。
- 交通事故多発地点において、交通安全施設対策が必要です。
- 高齢化社会に伴い高齢者ドライバーの増加により交通事故が増えていることから、子どもや高齢者を交通事故から守るための環境づくりや交通安全運動の普及を町民や関係機関と町が一体となって交通事故0を目指して進めていく必要があります。
- 朝夕の主要道路の渋滞解消、駅周辺の混雑緩和が課題となっています。
- 登下校時の子どもの安全を守るための交通規制や交通安全施設の整備については、地域の方の協力が必要です。
- 幹線道路と生活道路の交差点に交通安全指導員を配置し、引き続き登下校時の交通事故防止に努めていくことが必要です。
- 関係団体と協力しながら、高齢者ドライバーを対象とした交通安全教室を開くなど、一層の交通安全対策を進める必要があります。
- 幼児、小・中学生、高齢者ごとに交通事故多発地点等の周知や自転車交通ルール・マナーの向上に努める必要があります。
- 交通事故被害者支援として、交通災害見舞金制度を継続して推進しています。
- 放置自転車、原動機付自転車の撤去を継続しています。

〔基本目標指標〕

| 項 目      | 平成26年    | 平成30年目標 |
|----------|----------|---------|
| 交通事故発生件数 | 53件（H25） | 37件     |

〔実行計画の内容〕

| 施 策                         |      | ①交通安全施設と交通環境の整備・促進                                                                            |    |    |    |                       |    |    |    |
|-----------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-----------------------|----|----|----|
| 方針・目標                       |      | 危険な箇所にはカーブミラー・道路照明灯・区画線等を設置し、さらに歩行者・自転車利用者の保護を最重点として、緊急に交通の安全を確保する必要のある道路について交通安全施設等の整備を進めます。 |    |    |    |                       |    |    |    |
| 取り組み                        | 実施主体 | 旧プログラム                                                                                        |    |    |    | 新プログラム                |    |    |    |
|                             |      | 23                                                                                            | 24 | 25 | 26 | 27                    | 28 | 29 | 30 |
| 〈まちづくり戦略〉<br>交通安全施設と交通環境の整備 | 町    | 交通安全施設・交通環境の整備促進                                                                              |    |    |    | 推進体制の構築<br>推進プログラムの策定 |    |    |    |
|                             |      |                                                                                               |    |    |    | 交通安全施設・交通環境の整備促進      |    |    |    |

| 施 策                |           | ②交通安全思想の普及徹底                                                             |    |    |    |          |    |    |    |
|--------------------|-----------|--------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----------|----|----|----|
| 方針・目標              |           | 幼児から高齢者まで生涯にわたって、家庭、学校、地域、職場ぐるみで交通安全教育・対策が一貫して行われるよう関係機関、団体等相互の連携を強化します。 |    |    |    |          |    |    |    |
| 取り組み               | 実施主体      | 旧プログラム                                                                   |    |    |    | 新プログラム   |    |    |    |
|                    |           | 23                                                                       | 24 | 25 | 26 | 27       | 28 | 29 | 30 |
| 幅広い層への交通安全教育の充実    | 関係団体<br>町 | 事業の実施                                                                    |    |    |    | 実施・評価・改善 |    |    |    |
| 交通安全運動等を通じた広報活動の充実 | 関係団体<br>町 | 事業の実施                                                                    |    |    |    | 事業の実施    |    |    |    |

| 施 策        |           | ③交通安全に関する主体的活動の推進                                         |    |    |    |        |    |    |    |
|------------|-----------|-----------------------------------------------------------|----|----|----|--------|----|----|----|
| 方針・目標      |           | 交通指導隊の協力により交通安全活動を積極的に展開し、また、危険箇所には交通安全指導員を配置し、安全確保を図ります。 |    |    |    |        |    |    |    |
| 取り組み       | 実施主体      | 旧プログラム                                                    |    |    |    | 新プログラム |    |    |    |
|            |           | 23                                                        | 24 | 25 | 26 | 27     | 28 | 29 | 30 |
| 交通指導隊の活動強化 | 関係団体<br>町 | 活動強化支援                                                    |    |    |    | 活動強化支援 |    |    |    |
| 交通安全指導員配置  | 町         | 配置・見直し                                                    |    |    |    | 配置・見直し |    |    |    |

| 施 策       |      | ④被害者援護対策等                                                                          |    |    |    |                                                                                     |    |    |    |
|-----------|------|------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|
| 方針・目標     |      | 交通事故により肉体的、精神的、経済的にも大きな被害を受けている被害者及び親族の支援を進め、交通災害見舞金制度の利用を促進します。                   |    |    |    |                                                                                     |    |    |    |
| 取り組み      | 実施主体 | 旧プログラム                                                                             |    |    |    | 新プログラム                                                                              |    |    |    |
|           |      | 23                                                                                 | 24 | 25 | 26 | 27                                                                                  | 28 | 29 | 30 |
| 交通事故被害者支援 | 町    | 事業の実施                                                                              |    |    |    | 事業の実施                                                                               |    |    |    |
|           |      |  |    |    |    |  |    |    |    |

5. 消費者の保護

■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

トラブルを未然に防止するための情報提供や啓発活動が行われ、消費者の知識や意識が向上しています。  
また、広域的な相談体制も整備され、安心した生活が送れています。

〔基本目標〕

豊かで安心した生活が送れるよう、広域的な相談体制をもとに、消費実態と消費者トラブルに対応した多様な消費者保護対策を進めます。

〔現況と課題〕

- 高齢化社会となっている現在、消費生活や流通通信形態の多様化により、訪問販売や通信販売、インターネット販売等におけるトラブルが複雑・多様化し、増加の傾向にあります。
- 足柄上地区では、1市5町が共同して消費者相談業務を行っていますが、トラブル等を未然に防止するための消費者の知識や意識向上を促す情報提供や啓発活動をあんしんメール等により進めていく必要があります。より多くの人にどのように情報発信し、啓発を実施していくかが課題であり、老人会等の集会や学校教育の一環として行う等により、トラブルを未然に防ぐ取り組みが必要とされています。

〔基本目標指標〕

| 項 目                | 平成26年 | 平成30年目標 |
|--------------------|-------|---------|
| 啓発活動（講習会・チラシ等配布）   | 年 2 回 | 年 4 回   |
| 講習会等の参加者数（松田町参加人数） | 160人  | 200人    |

## 〔実行計画の内容〕

| 施 策                       |           | ①啓発活動等の充実                                                           |    |    |    |                 |    |    |    |
|---------------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------|----|----|----|-----------------|----|----|----|
| 方針・目標                     |           | 消費生活に関する情報の収集や提供の充実に取り組みます。<br>また、消費者保護のために講習会等を開催し、消費者の保護・指導を進めます。 |    |    |    |                 |    |    |    |
| 取り組み                      | 実施主体      | 旧プログラム                                                              |    |    |    | 新プログラム          |    |    |    |
|                           |           | 23                                                                  | 24 | 25 | 26 | 27              | 28 | 29 | 30 |
| 県・足柄上地区1市5町と連携した講習会の開催    | 関係機関<br>町 | 事業の実施<br>-----▶                                                     |    |    |    | 事業の実施<br>-----▶ |    |    |    |
| あんしんメール・広報・パンフレット等による情報提供 | 町         | 事業の実施<br>-----▶                                                     |    |    |    | 事業の実施<br>-----▶ |    |    |    |

| 施 策                       |           | ②相談体制の充実                                                |    |    |    |                 |    |    |    |
|---------------------------|-----------|---------------------------------------------------------|----|----|----|-----------------|----|----|----|
| 方針・目標                     |           | 事業者と消費者との間に生じた苦情等に対し、適切かつ迅速な処理の斡旋に取り組むため、広域的な相談行政を進めます。 |    |    |    |                 |    |    |    |
| 取り組み                      | 実施主体      | 旧プログラム                                                  |    |    |    | 新プログラム          |    |    |    |
|                           |           | 23                                                      | 24 | 25 | 26 | 27              | 28 | 29 | 30 |
| 足柄上地区1市5町と連携した広域的な相談体制の充実 | 関係機関<br>町 | 事業の実施<br>-----▶                                         |    |    |    | 事業の実施<br>-----▶ |    |    |    |